

大会時・コロナ禍での取組

- ・2019年10月：湾岸エリアの顧客向けヒアリング調査を実施
- ・2020年初め：取引先と協議しながら対策を検討
- ・2020年6月：納品遅延等を案内する文書の発信を検討

人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- テレワーク・・・実施率8割
- サテライトオフィス・・・民間のサテライトオフィスを活用
- 書類等の電子化・・・請求書の電子化(PDF)

物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリバラ コロナ禍

- 混雑が予想される地域への物流対策(クロスドック配送(※))
会社毎に別々で配送している納品先をまとめて配送(23区で実施)
(※)複数の荷主のものを物流センターに集めて仕分けし配送する取組
- 海外製品の前倒し納入
・3ヵ月ほど前倒し納入を実施(2020年・2021年)
・既存倉庫の運用を見直し保管場所を確保
・通常の保管期間を延長し在庫量を拡充
- 取引先に大会時の配送への影響を説明
一部湾岸エリアで納品時間遵守が難しい旨を案内する文書発信を検討

その他物流効率化に向けた取組

- 付帯作業の削減
- コードの標準化(QRコード活用で賞味期限を簡単にデータ化 etc.)
- 外装サイズの標準化
- トラック予約システムの活用

取組ポイント

- FAXや書類の電子化を進めることで、テレワークが難しいと考えられていた部門も含めて、ほぼ全社員のテレワークが実現

取組ポイント

- 取引先と協議し、事前に早朝納品など既存物流システムの変更を含む対策を検討
- 大会前に、該当エリア以外も含めクロスドック配送の実地テストを実施

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク
- サテライトオフィス
- オンライン会議
- 書類等の電子化

物の流れ

- 変更した物流システム(ルート含む)を継続
- トラック予約システムを当社工場で随時導入を推進
- 2021年4月に「外装サイズ標準化ガイドライン」(※)制定後社内プロジェクトを立ち上げ、物流視点に立った外装サイズ標準化と日付情報を盛り込んだGS1QRコードの導入へ向け取り組み中
- 納品先での付帯作業の削減取組を組織として継続中
(ヒアリング10月14日時点)

(※)加工食品分野に関わるメーカー、物流会社、卸、小売、業界団体等で構成する「加工食品分野における外装サイズ標準化協議会」にて作成

【東京2020大会を振り返って】

- ・無観客では交通混雑が発生しないと捉えられることもあったが、無観客でも交通対策が実施され、影響が想定されることを顧客対応窓口である営業部門の担当者に説明を行った。
- ・荷主への働きかけ等で、行政とも連携ができた。
- ・様々な検討をする中で、物流現場で考えていた案を支社でも検討したものの、実現できなかったこともあったことは残念。
- ・早朝納品等の施策を検討する際、HPや説明会等で提供された情報が役立った。(早朝納品は物流上の課題等があり実施していない。)